

八幡工高新聞

発行者：滋賀県立
八幡工業高校新聞部
高体連 高文連結果3
レスリング海外遠征結果



6月19日から26日にかけて中央アジアのキルギスで開催された2022年U17アジア選手権大会へ出場した坪田君。初めての国際試合を終えての感想を聞いた。

「強かった」とひと言。国内では同階級で力負けすることはなかったという坪田くんだが「全然、力が違った。技術面では負けていなかったが、力で負けた」と語る。スタンド（立ち技）では優勢だったものの、グランド（寝技）になると、相手選手のうまさと力に歯が立たなかったという。

7月16日には国体予選がある。坪田くんは、インターハイ予選で負けた対戦相手と一回戦である。「リベンジする。ここで勝って最後国体に出たいので、絶対優勝する」と闘志を燃やす。

みんなで坪田くんを応援しよう。**ファイト!坪田くん!**

「いい経験 今後の励みに」 顧問 倉本忠先生

「世界の強豪と戦えたことは、とてもいい経験になった」と倉本先生。「全日本の監督や

コーチ、各階級の代表選手と触れあえたことで、彼のレスリングに対する姿勢も変化したことと思う。今後の選手生活の励みにして欲しい」と大会を振り返った。

ラグビー部 準優勝

準決勝

八工 75 - 0 膳所

36-0

39-0

決勝

八工 3 - 59 光泉

カトリック

3-35

0-24

「光泉の攻撃をとめきれなかった」と悔しさをにじませる主将の谷口忠獅朗くん。しかし、手が届かない存在だとは思っていない。

「秋までになんとしても追いついて越える」「それだけきつい練習を乗り越えていく自信が僕たちにはあります」と頼もしい。総勢31人。前に出るディフェンスを強化していき、秋季大会で優勝を目指す。

ぜひとも花園へのキップを手に入れてほしい。**頑張れ!ラグビー部!**



対膳所戦
希望ヶ丘文化公園球技場にて



←スタンドオフ 金森隼都くん